

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和03年03月25日

計画の名称	中央市暮らしやすさを創造する下水道事業（重点計画）												
計画の期間	平成30年度～平成31年度（2年間）								重点配分対象の該当	○			
交付対象	中央市												
計画の目標	下水道事業計画区域の整備を進め、住環境の向上を目指す。												
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	376	A	376	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C / (A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		H27年度当初	H29年度末	H31年度末
1	下水道整備率を57.0%(H27年度当初)から65.3%(H31年度末)に増加させる。			
	下水道整備率	57%	59%	65%
	下水道整備済面積(ha) / 下水道全体区域面積(ha)			

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
当初1つであった整備計画を切り分けたため、計画を跨る成果目標については、事後評価を関連する整備計画と一体的に実施する。												

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												H30	H31	R02	R03	R04			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
下水道事業	A07-001	下水道	一般	中央市	直接	中央市	管渠(汚水)	新設	玉穂地区(普及促進)	L=0.4km	中央市						22	-	
		H27年度より事業実施 L=0.7km、75百万円実施済																	
	A07-002	下水道	一般	中央市	直接	中央市	管渠(汚水)	新設	田富地区(普及促進)	L=3.7km	中央市						347	-	
		H27年度から事業実施 L=3.5km、490百万円実施済み																	
	A07-003	下水道	一般	中央市	直接	中央市	-	-	施設計画策定業務	効率的な事業実施のための計画策定	中央市						7	-	
		H27年度より事業実施 計画策定、16百万円実施済み																	
											小計						376		
											合計						376		

事後評価

事後評価の実施体制、実施時期

事後評価の実施体制

中央市行政評価検討委員会により実施

事後評価の実施時期

令和3年3月24日

公表の方法

市ホームページ

事業効果の発現状況

定量的指標に関連する  
交付対象事業の効果の発現状況

整備区域については順調に下水道への接続が進んでおり、計画の目標である住環境の向上に寄与した。

定量的指標以外の交付対象事業の  
効果の発現状況（必要に応じて記述）

汚水処理施設整備構想を策定し、効率的な施設整備ができた。

特記事項（今後の方針等）

整備後30年を経過する施設が増加するため、未普及区域の整備と併せて老朽化対策に本格的に取り組んでいく必要がある。



(参考図面)

計画の名称	中央市暮らしやすさを創造する下水道事業		
計画の期間	平成27年度から平成31年度（5年間）	交付対象	山梨県中央市

